

第 26 回 インフルエンザ 研究者交流の会 シンポジウム

プログラム

2012 年 5 月 24 日 (木) ~ 26 日 (土) 於 裏磐梯猫魔ホテル

5 月 24 日 (木)

13:00 受付 及び 昼食

14:00 一般口演

14:00-14:45 座長 清水宣明、廣津伸夫

1. 福島県におけるインフルエンザの流行について

門馬直太、○北川和寛、塚田敬子、二本松久子、金成篤子、佐藤弘子

2. 3 シーズンにわたる日本国内の抗インフルエンザ薬耐性 A(H1N1)pdm09 ウイルスサーベイランス

○江島美穂、高下恵美、藤崎誠一郎、金南季、佐藤彩、岸田典子、徐紅、菅原裕美、

伊東玲子、土井輝子、今井正樹、田代真人、小田切孝人 (感染研)、地方 衛生研

究所インフルエンザ株サーベイランスグループ

3. 平成 23 年度の三重県多気郡明和町の 2 つの小学校におけるインフルエンザ流行について

○清水宣明 (群馬大、大学院医学系研究科、分子予防医学)、片岡えりか、脇坂浩 (三重県立看護大、

看護学部)、東友子、鈴木俊道 (明和町立下御糸小学校)、兒島敏昭、

宮西佐和子 (明和町立明星小学校)、西村秀一 (仙台医療センター、ウイルスセンター)

14:45-15:30 特別講演 座長 高橋和郎

「空気伝播する H5 インフルエンザウイルス」

河岡義裕 (東大 医科研)

15:30 - 16:15 座長 小田切孝人、川上千春

4. インフルエンザ感染時における末梢血の動態

○廣津伸夫

5. 長期持続感染例のウイルス変異

○川上千春、七種美和子 (横浜市衛研)

江島美穂、高下恵美 (感染研)

6. インフルエンザ感染患者における機能的新型ウイルスの出現とその意味

○清水一史 1, 西川智子 1,2, 長谷川央 1, 豊澤恵子 1, 山崎元美 1, 芝田敏克 1, 黒田和道 1, 増谷友江 3, 川村孝 3, 花田信弘 2, 濱田良樹 2, 池田稔 1, 山本樹生 1 (1 日大医, 2 鶴見大歯, 3 京大保健センター)

16:15 - 16:30 休憩

16:30 - 17:15 座長 信澤枝里、五藤秀男

7. バイオインフォマティクスによるインフルエンザウイルスの抗原変異予測

○伊藤公人 北大

8. ベトナムの家禽から分離されたインフルエンザウイルスの遺伝子系統解析

西 達也[1]、野村直樹[1]、○岡松正敏[1]、櫻井健二[2]、佐藤由佳[1]、澤山るみ[1]、迫田義博[1]、Nam Van Hoang[3]、Long Van Nguyen[3]、HuyDuc Chu、Tien Ngoc Tien[3]、喜田 宏[1] ([1]北大・獣医、[2]OIE アジア太平洋地域事務局、[3]Ministry of Agriculture and Rural Development)

9. 鳥インフルエンザウイルスのブタ継代によるヒト型レセプター特異性の獲得

○七戸新太郎、岡松正敏、迫田義博、喜田 宏 (北大、獣医)

17:15 - 18:00 座長 高田 礼人、板村繁之

10. 新型インフルエンザワクチン製造種株の開発

○信澤枝里、白倉雅之、川口晶、田代真人 (感染研)

11. インフルエンザワクチンの抗原経時安定性に関するワクチン株間の比較

○嶋崎典子、白倉雅之、信澤枝里、板村繁之：全て感染研

12. 経鼻投与型インフルエンザワクチン効果に感染歴が与える影響

伊藤 良、○相内 章、浅沼 秀樹、鈴木 忠樹、田村 慎一、田代 真人、長谷川 秀樹 (感染研)

18:15 終了

18:30 ~ 20:00 夕食

20 : 00 ~ 20:45 座長 影山努、加瀬哲男

13. リアルタイム PCR 法を用いた臨床検体からの C 型インフルエンザウイルスの検出

○松寄葉子、菅原勘悦、下平義隆、本郷誠治（山大）、池田辰也、青木洋子、
安孫子千恵子、水田克巳（山形衛研）

14. RT-SmartAmp 法による高病原性インフルエンザ A(H5N1) の 1 ステップ検出技術開発

○臼井健悟 1、川上千春 2、木村恭将 1、木下紘子 1、坂井(田川)優子 3、河岡義裕 3、永井美之 4、
林崎良英 1、石川智久 1

1, 理研・OSC; 2, 横浜市衛研; 3, 東大・医科研; 4, 理研・CRNID

15. RT-LAMP 法を用いたインフルエンザウイルス遺伝子検査の使用経験 —ベッドサイドにおける迅速
検査としての試み—

○大場邦弘 1)、高山郁代 2)、中内美名 2)、影山努 2)

1) 公立昭和病院・小児科、2) 感染研・インフルエンザウイルス研究センター

20 : 45 ~ 21:30 一般口演 座長 長谷川 秀樹、西村秀一

16. ヘマグルチニン特異抗体の垂型間交差反応性

○高田 礼人 北大

17. Crossreactivity of polymeric and monomeric anti-influenza IgA monoclonal antibody

○Ahmad M. Haredy (医薬基盤研), Takeshi Tanimoto ((財) 阪大微研),
Shin-ichi Tamura (感染研), Sumiko Matsuoka (医薬基盤研), Yasuko Mori (医薬基盤研、神大),
Yoshinobu Okuno ((財) 阪大微研), Koichi Yamanishi (医薬基盤研),
Shigefumi Okamoto (医薬基盤研)

18. エアー・フィルターのパフォーマンス評価システムの構築とその応用

○西村秀一 1、大宮卓 1、松寄葉子 2、阪田総一郎 3 1 仙台医療センター 2 山形大 3 高砂熱学
工業

21 : 30 意見交換会

5月25日(金)

8:30 シンポジウム 座長 奥野良信、高橋和郎

1. インフルエンザワクチンの現状と問題点
喜田 宏 (北大、獣医)
2. 乳幼児にとっては毎年が新型パンデミック
中山 哲夫 (北里研究所)
3. インフルエンザ A(H3N2) および B 型ワクチンが抱えている問題点
小田切孝人 (感染研)
4. 経鼻インフルエンザワクチンの優位性と課題
長谷川 秀樹 (感染研)
5. 細胞培養ワクチンの現状と将来展望
成瀬 毅志 (化血研)
6. 新型 H5N1 ウイルスワクチンの現状と問題点
板村 繁之 (感染研)

12:00 ~昼食~

13:00 交流会

18:00- 19:00 一般口演 座長 中屋隆明、伊藤公人

19. 犬インフルエンザ(H3N8)感染犬から馬への異宿主伝播の可能性

○山中隆史, 坂内大, 辻村行司, 根本学, 上野孝範, 村中雅則, 丹羽秀和, 木下優太, 近藤高志, 松村富夫(JRA 総研栃木), 左一八, 鈴木隆(静岡県立大)

20. イヌインフルエンザウイルス受容体糖鎖認識

○左 一八 1、吉野宏毅 1、山中 隆史 2、鈴木 隆 1
1 静岡県大、薬、生化、グローバル COE、2JRA 総研

21. ウイルス特異的メモリーCD8T 細胞の肺気道粘膜移行調節機構の解明

○高村史記（近大医）、Jacob E. Kohlmeier（Emory Univ.）、八木秀樹（近大薬）、中山俊憲（千葉大）、戸村道夫（京大）、松島綱治（東大）、David L. Woodland（Keystone Symposia）、宮澤正顯（近大医）

22. H1N12009-HA ゲノムのディープシーケンス解析

安木真世、大道寺智、生田和良、高橋和郎、○中屋隆明

19:15 夕食

21:00 意見交換会

5月26日(土)

9:00 - 10:00 一般口演 座長 水田克己、岡本成史

23. Dextran sulfateによるインフルエンザウイルスNA活性とウイルス増殖の阻害

○山田博司、Haredy M. Ahmad、森康子、山西弘一、岡本成史

24. ニワトリ血球を使用したA/Victoria/210/2009 (H3)のHI抗体保有状況

○田澤崇、渡部香、広川智香、渡邊香奈子、田村務 新潟保環研
昆美也子 新発田保健所

25. Sia α 2-3結合型シアロ糖鎖を認識する単クローン抗体

○山口真帆、左一八、鈴木隆(静岡県大、薬)

10:00 - 11:00 座長 本郷誠治、杉田繁夫

26. C型インフルエンザウイルスCM2の細胞質領域が担う役割

○下平義隆1、後藤和成1、村木靖2、松寄葉子1、菅原勤悦1、本郷誠治1
1:山形大、医、感染症学、2:金沢医大、微生物学

27. NS2欠損ウイルス様粒子を用いたC型インフルエンザウイルスNS2蛋白の機能解析

○大桑孝子、村木靖、姫田敏樹、大原義朗(金沢医大・医・微生物)

28. CM2のイオンチャネル活性はC型インフルエンザウイルスの増殖に必要なか?

○村木 靖、大桑孝子、姫田敏樹、大原義朗(金沢医大・医・微生物)

11:00 総会

11:45 解散、昼食